

合わせるって素敵だね。

○ねらい 友達と一緒にするなかで、感じたことや気付いたことを話すことを楽しむ。

作成日 R4年2月18日
対象児 4歳児さくら組
作成者 山川真紀



○振り返り



さくら組では、年長に向けて少しずつご供養やうさぎ当番などを行っています。年長児のしている事に憧れている子どもたち、ご供養やうさぎ当番も積極的にする様子がみられています。最初、クラスでご供養をする時、緊張した表情で、慎重に道具を持つ姿、ちょっと照れくさそうにする姿がみられました。ご供養をした後に、クラスで振り返りをすると最初は「緊張したけど楽しかった。」「みんな上手だった」「すり足がちょっと難しかった」等、自分のことを話すことが多かったのですが、次第に「○○ちゃんが、手を伸ばしていてきれいだった」「一人だけ先に行かんと一緒に合わせてるところが良かった」「合わせたらきれいだった」等、友達の良かったところも気づき、話す姿も増えてきました。保育者も子ども達と一緒に振り返って、次に活かしていけるようにしています。そのなかで、子どもたちから出た、「合わせる」という言葉についても考えてみました。『力を合わせる・音を合わせる・気持ちを合わせる・手を合わせる』等、様々な『合わせる』という言葉がありますが、どれも、自分だけのことを考えていたら、合わせることは難しいと思います。自分のことだけでなく、相手のことも考えられるよう、これからも保育をしていくなかで、日々、子ども達と振り返っていきたいと思います。（社会生活生活との関わり・協同性・思考力の芽生え・道徳性・規範意識の芽生え・自立心）

